

市街化区域と市街化調整区域の区分（線引き）の見直し案作成に係る仙台市の方針

1. 線引き制度と本市の取り組み状況

市街化区域と市街化調整区域の区分（以下、線引き）は、無秩序な市街化を防止し計画的に市街化を図ることを目的とした都市計画の制度です。本市では、宮城県が策定する「仙塩広域都市計画区域※の整備、開発及び保全の方針」（以下、区域マスタープラン）に併せ、これまでに7回の線引き見直しを実施しました。本市では、第6回見直し（平成22年5月）より、線引き見直しに係る仙台市案作成の方針を作成し、人口減少や高齢化など社会経済情勢に対応するため、市街化区域の拡大は行わないことを基本に見直しを行っています。

宮城県では、令和6年度に新たな区域マスタープランを策定する予定としており、これに併せ、本市では令和5年3月頃に線引き見直しに係る仙台市案を宮城県へ申出する予定です。

※都市計画区域

都市計画法に基づき、「一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域」として都道府県が定める区域。仙台市は11市町村からなる「仙塩広域都市計画区域」の一部。

2. 本市の都市づくりの考え方

仙台市都市計画マスタープランでは、今後、進展が見込まれる人口減少や高齢化などの状況を踏まえ、都心や広域拠点（泉中央地区・長町地区）、地下鉄沿線の都市軸、鉄道沿線に商業・業務、福祉・子育て・医療などの都市機能を集積する、機能集約型の都市づくりに取り組んでいます（P.4 参照）。

併せて、本市では市街地が量的には一定程度充足してきており、これまで以上に市街地を「つかう」という視点を持ち、魅力や活力あふれる都市活動が展開される持続可能で多様性に富んだ都市づくりにも積極的に取り組むこととしています。

また、地域経済を支える工業・流通・研究について、各機能のさらなる集積と国際的・広域的な産業機能や研究開発機能の一層の集積を図るとともに、産業構造の変化に対応した地域産業機能を集積することとしています。

機能集約型の都市づくりを進める上では、市街地の積極的な拡大を行う状況には無く、本市の経済成長や魅力・活力の創出につながる市街地整備を限定的かつ効果的に進めていく必要があります。

3. 第8回線引き見直しに係る仙台市案作成の方針

本市の都市づくりの考え方を踏まえ、以下の2つの方針により仙台市案の作成を行います。

方針1 市街化区域への編入は、以下に該当する地区に限定して行う

1-1. 鉄道駅徒歩圏で、地域の特性を生かした魅力・活力を生み出す地区

鉄道駅徒歩圏で、地域の特性を生かした魅力・活力を生み出す都市機能の誘導や居住・商業・業務・医療・福祉・子育てなどによる良好な居住環境の形成を図り、計画的な市街地整備が確実に行われる見込みのある地区については、市街化区域への編入を検討します。

なお、居住系の土地利用を計画する場合は、人口フレーム※の範囲内で調整が必要になります。

※人口フレーム

宮城県による都市計画基礎調査における将来人口予測の結果、既存の市街化区域で収容しきれない人口のこと。

1-2. 地域経済を支える工業・流通・研究施設の立地を図る地区

電子商取引の拡大等を背景とした物流倉庫の需要の増加、次世代放射光施設の立地による研究開発拠点や関連産業の集積など本市の経済や産業を取り巻く状況の変化に対応した都市機能が求められています。

工業・流通・研究施設の配置にあたっては、本市が有する広域的な道路ネットワークの活用や様々な立地ニーズなどにより、既存市街化区域内での対応が困難な場合が考えられることから、市街化区域への編入を検討します。

なお、工業・流通・研究施設の立地にあたっては、周辺的生活環境や自然環境への影響が想定されるため、既存市街化区域との連続性や周辺環境への影響に十分な配慮を図ることが必要になります。

また、公有水面埋立事業により市街地を整備した地区のうち、既存市街化区域との一体性が確保されている地区についても、市街化区域への編入を進めます。

方針2 市街地の豊かな自然環境の保全が必要な地区や未利用地について市街化調整区域への編入を進める

自然環境と都市機能が調和した持続可能な都市を実現するためには、河川や緑地などの豊かな自然環境を一層保全、継承していく必要があります。

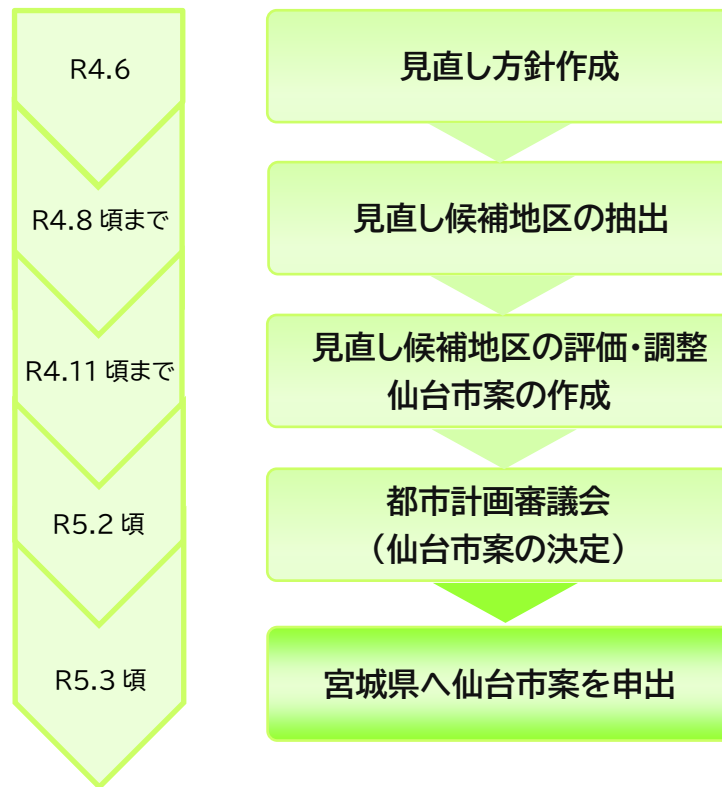
そのため、既存の市街化区域で良好な緑地空間が保持されている地区については、市街化調整区域への編入を積極的に検討します。

また、市街化調整区域に隣接する既存市街化区域の中で、今後の土地利用が見込まれない地区について、市街化調整区域への編入を検討します。

4. 線引き見直しの手順

線引き見直しにあたっては、本方針に基づき、本市が見直しを行う候補地区を8月上旬までに抽出します。その後、11月上旬までに各地区の評価・調整を行った上で、仙台市案を作成します。

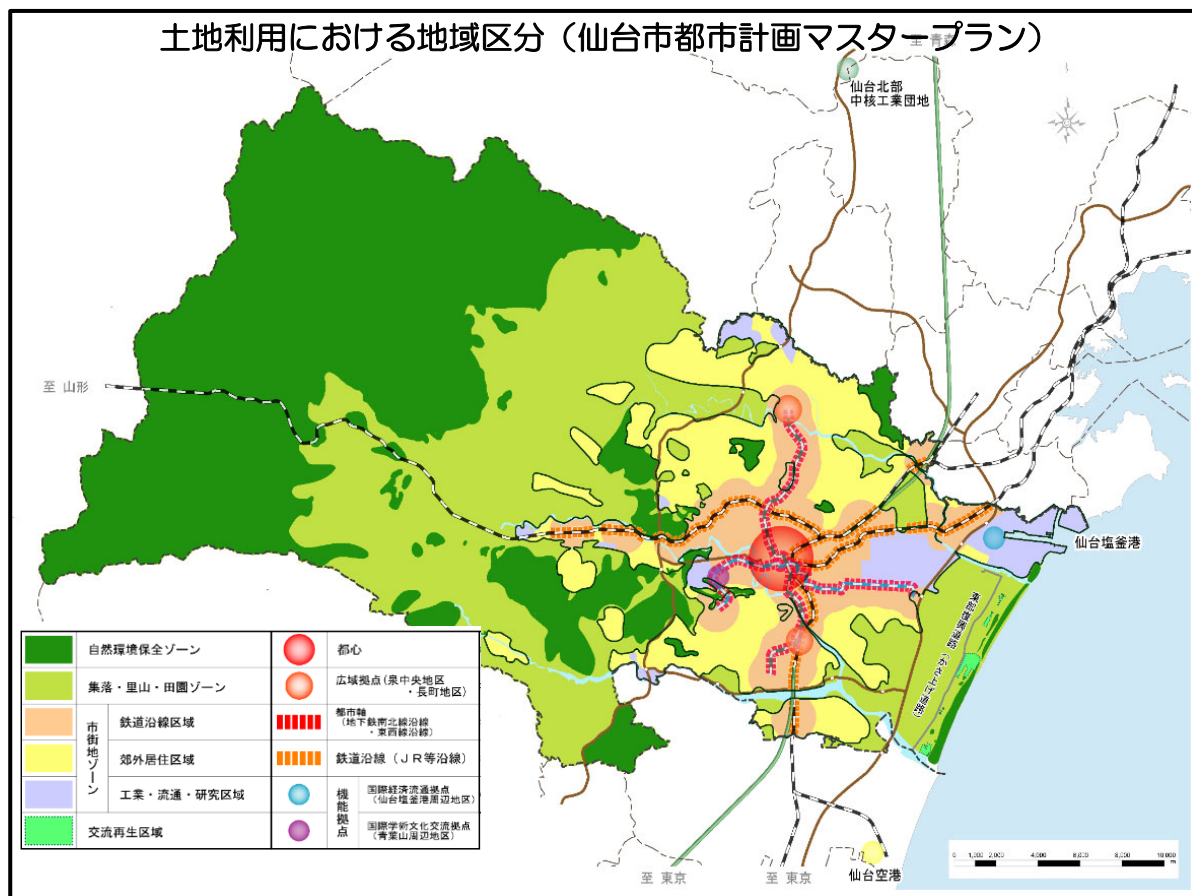
仙台市案は、学識経験者や市議会議員などで構成される仙台市都市計画審議会への諮問を経て、令和5年3月頃に宮城県へ市案を申し出ます。



※上記スケジュールで県へ申出を行うため、今回（第8回）線引き見直しは、令和4年7月中旬までにご相談があった地区が検討対象となります。なお、7月中旬以降のご相談につきましては、見直し手続きのスケジュール上、対応できませんのでご了承ください。

詳細については仙台市都市計画課までお問い合わせください。

(参考) 土地利用の基本的な考え方



緑豊かで潤いのある美しい「杜の都」の都市環境や、高い防災力を生かした「防災環境都市」としての都市個性を基盤として、都心の機能強化を図り、東北・仙台の持続的な活力の増進につなげることを目指します。

様々な世代やライフスタイル、地域の実情などに応じて、都市計画の見直しなどにより生活の質を維持するために必要な都市機能の確保を図ります。

■広域拠点

泉中央地区および長町地区に「広域拠点」を配置し、都市圏の活動を支え、生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の強化・充実を図ります。また、広域拠点の利便性を生かした都市型居住の推進を図ります。

■工業・流通・研究区域

それぞれの機能のさらなる集積と国際的・広域的な産業機能や研究開発機能の一層の集積を図るとともに、産業構造の変化に対応した地域産業機能を集積します。

■機能拠点

仙台塩釜港周辺地区に「国際経済流通拠点」、青葉山周辺地区に「国際学術文化交流拠点」を配置し、都市としての持続的な発展を支える魅力的で個性ある都市機能の強化・充実を図ります。

■集落・里山・田園ゾーン

自然環境保全にも及び農地・農業の持つ多面的な価値を十分に認識しながら、農林業振興や地域活性化により集落の生活環境を維持します。

里山地域は保全に努めるとともに、森林などの持続的な利活用、環境と調和した農林業振興などを推進します。

田園地域は、水田の持つ気象緩和機能や保水機能などを保全します。

■都市軸

東西と南北の地下鉄駅を結ぶ地下鉄沿線を、十文字型の「都市軸」と位置付け、駅を中心とした土地の高度利用や都市機能の集積を進めます。また、交通利便性を生かした快適な居住環境の形成を推進します。

■鉄道沿線

JR等の鉄道駅を中心に、魅力ある市街地を形成するため、地域特性を踏まえ都市計画の見直しなどにより、居住機能や暮らしに必要な都市機能を誘導します。

■自然環境保全ゾーン

豊かな生態系を支え自然環境を守る区域であり、本市の自然特性が将来に渡って保持されるよう、自然環境を保全します。

仙台市 都市整備局 都市計画課 計画調整係
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL：022-214-8294 MAIL：tos009110@city.sendai.jp

方法書 1 ページ

(修正前)

1.2.3 事業の目的

対象事業計画地の大半は、仙台市都市計画マスタープランにおける鉄道沿線区域に位置付けられており、駅を中心に地域の特性や交通利便性を生かした暮らしに必要な商業・業務機能等の集積を図ることとしている。

また、対象事業計画地の一部は東日本旅客鉄道株式会社(以下、「JR」という)仙山線愛子駅から約 1.0km 圏内に位置しており、通勤・通学地としても良好な立地条件であることから、北側の既存市街地との調和を図り、住宅及び近隣サービス施設等の整備を行うことで、地域の魅力を高めることが期待される。

このため、本事業においては、機能集約型市街地形成に沿った土地利用計画の誘導を目指し、周辺環境と調和した工業用地、商業用地、住宅用地の整備を図り、魅力あるまちづくりの実現を目的とする。

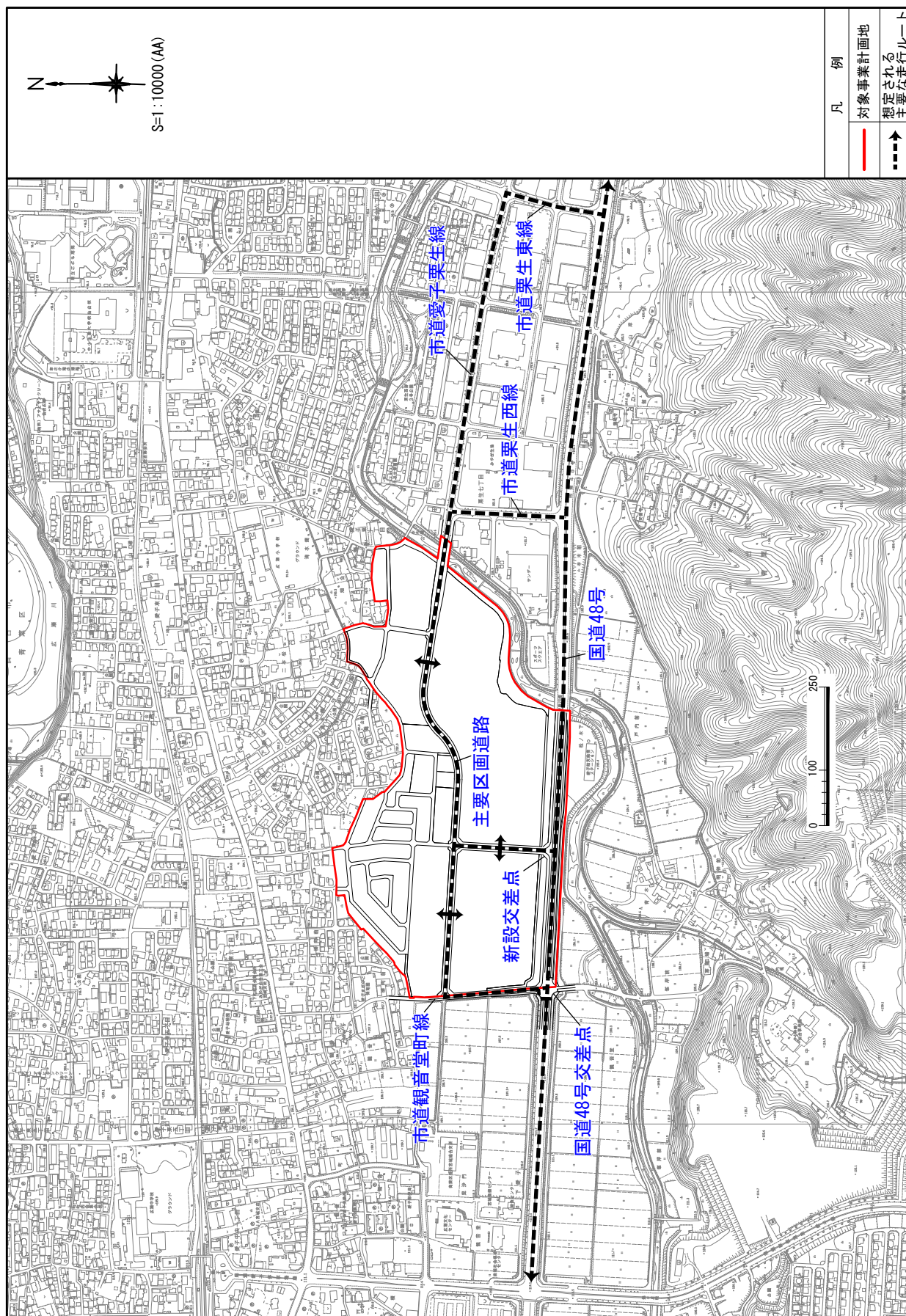
(修正後)

1.2.3 事業の目的

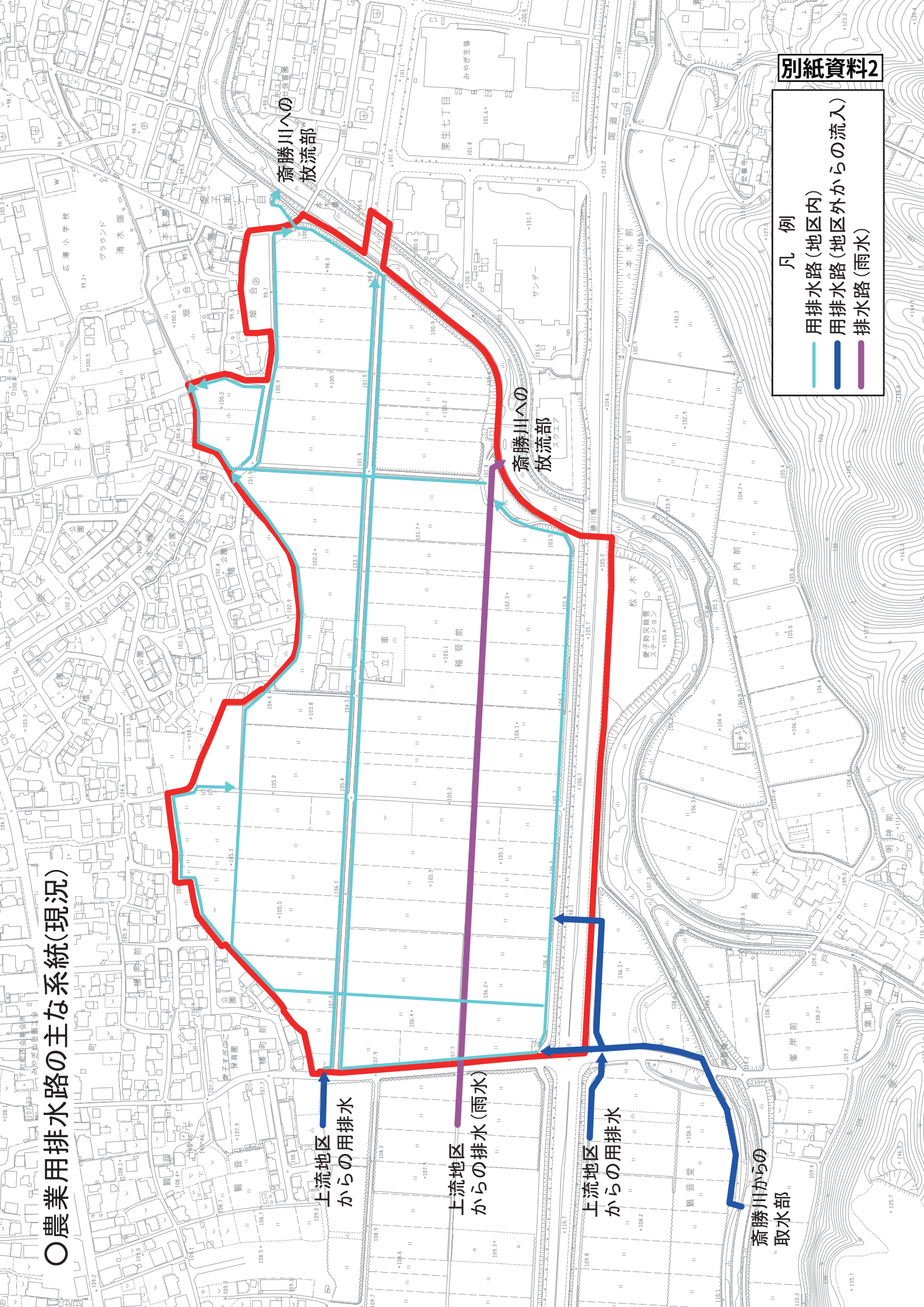
対象事業計画地の**一部**は、仙台市都市計画マスタープランにおける鉄道沿線区域に位置付けられており、**特に東日本旅客鉄道株式会社(以下、「JR」という)仙山線愛子駅から約 1.0km 圏内については**通勤・通学地としても良好な立地条件であることから、北側の既存市街地との調和を図り、住宅及び近隣サービス施設等の整備を行うことで、地域の魅力を高めることが期待される。

また、本地区と接する国道 48 号や近接している自動車専用道路、IC 周辺においては、その立地特性を生かした工業、流通などの機能集積を推進することで、地域の特性や交通利便性を生かした暮らしに必要な商業・業務機能等の集約を図ることが期待される。

これらを踏まえ、本事業においては、機能集約型市街地形成に沿った土地利用計画の誘導を目指し、周辺環境と調和した工業用地、商業用地、住宅用地の整備を図り、魅力あるまちづくりの実現を目的とする。



○農業用排水路の主な系統(現況)



別紙資料2

凡 例

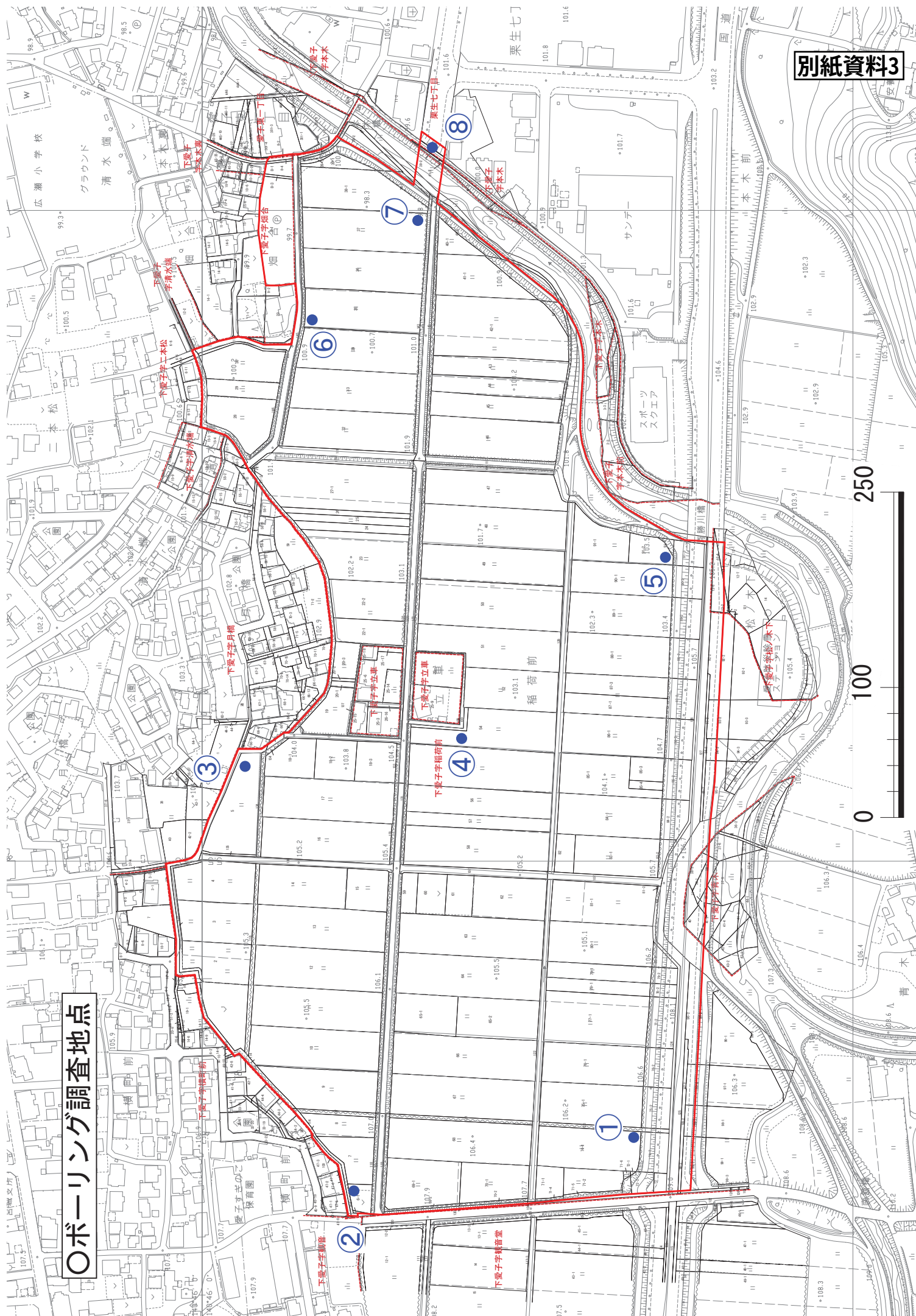
用排水路(地区内)

用排水路(地区外からの流入)

排水路(雨水)

別紙資料3

○ボーリング調査地点



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-1			調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内					北緯	° ' "				
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	令和6年 1月17日～ 令和6年 1月22日					東経	° ' "			
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435			主任技師	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		現場代理人	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		コア鑑定者	中島 誠一 地質調査技士 登録番号: 第16537号		ボーリング グ責任者	赤間 万了 地質調査技士 登録番号: 第23125号	
孔口標高	0.00m		角 180° 上 下 0° 90° 0°	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 0° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 東邦D-0型					ポンプ	東邦BG-3型		
総削孔長	21.45m						エンジン	ヤンマーTF90型							

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-2			調査位置			宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内					北緯		° ' "					
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会						調査期間		令和6年 1月22日～ 令和6年 1月24日					東経		° ' "			
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435			主任技師		本間 章久 地質調査技士 登録番号:		現場代理人		本間 章久 地質調査技士 登録番号:		コア鑑定者		中島 誠一 地質調査技士 登録番号: 第16537号		ボーリング責任者		佐藤 弘隆 地質調査技士 登録番号: 第20615号	
孔口標高	0.00m		角 度	方		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配		0° 鉛直 90°		使用機種		試錐機 東邦D-0型					
総削孔長	10.30m			向								エンジン		ヤンマーTF90型		ポンプ		東邦BG-3型	

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務		
事業・工事名			
調査目的及び調査対象			

ボーリング名	B-3		調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内			北緯	° ' "						
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	令和6年 1月11日～ 令和6年 1月17日		東経	° ' "					
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435		主任技師	本間 章久 地質調査技士 登録番号：		現場代理人	本間 章久 地質調査技士 登録番号：		コ定者	中島 誠一 地質調査技士 登録番号： 第16537号		ボーリング責任者	佐藤 弘隆 地質調査技士 登録番号： 第20615号	
孔口標高	0.00m		角			方			地盤勾配	0° 水平 0°		使用機種	試錐機 東邦D-0型	
総削孔長	9.45m		度	0°		向	北 0° 90° 180° 南 270° 西 東		エンジン	ヤンマーTF90型		ポンプ	東邦BG-3型	

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対対調密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試料採取		室内試験	原位置試験		削孔月日									
										深度－N値図							深	試料番号		深	試験名及び結果										
(m)	(m)	(m)								0	10	20	30	40	50	60	値(m)	100	200	300	50回の貫入量	自沈時の貫入量	(m)				(m)				
1	-0.80	0.80	⊗	盛土		黒褐		砂混じりシルト状を呈する。 深度0.50m以深に径50mm以下の垂円～垂角礫を混入する。	1/12 3.00								1.150	5	6	5	16	300.0									
2			玉石混じり砂礫			褐		径40mm以下の垂円～垂角礫を主体とし、所々でくり抜きコア状の礫（Lmax 100mm）を採取する。 礫質は安山岩類の礫を主とする。 マトリックスは、シルト質砂主体である。 深度1.00m付近は含有する礫が比較的小なく、マトリックスは砂質シルト主体である。										1.450													
3																					2.150	18	19	13	50	290.0					
4																					2.440				80.0	290.0					
5																					3.150	10	12	10	32	300.0					
6																					3.450										
7																					4.150	20	30		50	200.0					
8	-8.15	8.15	⊗			黄褐		風化の進んだ粗粒な凝灰岩からなり、全体に径5mm以下の軽石を混入する。 コアは半固結した凝灰質砂状に採取される。 全般に固結度は低く、コアの硬さはハンマーの終打で潰せる程度である。										4.350				200.0									
9	-9.45	9.45	⊗	風化凝灰岩															5.150	12	12	26	50	270.0							
10																			5.420				70.0	270.0							
11																			6.150	20	13	8	41	300.0							
12																			6.450												
13																			7.150	25	25		50	180.0							
14																	7.330				80.0	180.0									
15																	8.150	8	7	12	27	300.0									
																	8.450														
																	9.150	9	12	25	46	300.0									
																	9.450														

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-4			調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内					北緯	° ' "				
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	令和6年 1月17日～ 令和6年 1月18日				東経	° ' "				
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435			主任技師	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		現代理	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		コ鑑定者	中島 誠一 地質調査技士 登録番号: 第16537号		ボーリング グ 責任者	佐藤 弘隆 地質調査技士 登録番号: 第20615号	
孔口標高	0.00m		角 180° 上 90° 下 0° 度	方 北 0° 270° 西 180° 南 90° 東 向	地盤勾配 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦D-0型								
総削孔長	7.60m						エンジン ヤンマーTF90型					ポンプ	東邦BG-3型		

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-5			調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内						北緯	° , "			
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	令和6年 1月12日～ 令和6年 1月17日						東経	° , "		
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435			主任技師	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		現場代理人	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		コア鑑定者	中島 誠一 地質調査技士 登録番号: 第16537号		ボーリング グ責任者	赤間 万了 地質調査技士 登録番号: 第23125号	
孔口標高	0.00m		角  度	方  向	地盤勾配  配	使用機種  種	試錐機	東邦 D-0型							
総削孔長	13.26m						エンジン	ヤンマーTF90型						ポンプ	東邦BG-3型

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-6			調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内						北緯	° ' "			
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	令和6年 1月 9日～ 令和6年 1月11日						東経	° ' "		
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435			主任技師	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		現代理	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		コ鑑定	ア中島 誠一 地質調査技士 登録番号: 第16537号		ボーリング	佐藤 弘隆 地質調査技士 登録番号: 第20615号	
孔口標高	0.00m		角 180° 上 90° 下 0° 度	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 向	地盤勾配 0° 水平 0° 鉛直 90° 配	使用機種	試錐機 東邦D-0型								
総削孔長	6.45m						エンジン	ヤンマーTF90型			ポンプ	東邦BG-3型			

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-7		調査位置		宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内					北緯		° ' "							
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間		令和6年 1月 9日～ 令和6年 1月12日				東経		° ' "						
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435			主任技師		本間 章久 地質調査技士 登録番号:		現代 場代理人		本間 章久 地質調査技士 登録番号:		コ 鑑定者		阿 中島 誠一 地質調査技士 登録番号: 第16537号		ボーリング グ責任者		赤間 万了 地質調査技士 登録番号: 第23125号	
孔口標高	0.00m		角  度	方  向	地盤 勾配	 度	使用 機種	試錐機		東邦D-0型									
総削孔長	17.29m							エンジン		ヤンマーTF90型				ポンプ		東邦BG-3B型			

標尺	標高	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量	試験採取	室内	原位置試験		削孔				
											深度	100mm毎の打撃回数			50回の貫入量				試験名及び結果						
												0	100	200											
(m)	(m)	(m)							事		値	度	0	100	200	貫入量	度	番号	方法	度		日			
		-0.50 0.50		表土		黒褐			砂混じりシルト状を呈する。耕作土であり、全体に草根等の有機物を多く混入する。				1.150	1	1	2									
1		-1.45 1.45		礫混じり砂質シルト		暗褐	rc2		細砂を混入する不均質なシルト。全体に径40mm以下の垂円～垂角礫を混入する。			2.150	5	6	15	26									
2		-2.15 2.15		礫混じりシルト		暗褐	rc5		全体に均質なシルト。所々に径30mm以下の垂円～垂角礫を点状とする。			2.450													
3				玉石混じり砂礫		淡褐			径40mm以下の垂円～垂角礫を主体とし、所々でくり抜きコア状の礫(Lmax 300mm)を採取する。礫質は安山岩類の礫を主とする。マトリックスは、シルト質砂主体である。深度2.60m以浅のマトリックスは暗褐色を呈する。			3.150	7	5	7	19									
4										3.450															
5										4.150	15	13	13	41											
										4.450															
										5.000	50		50	100											
6		-5.75 5.75		風化凝灰岩		乳白と黄灰			風化の進んだ細粒な凝灰岩。コアは凝灰質粘土状～固結シルト状に採取される。全般に固結度は低く、コアの硬さは指で潰せる程度である。			5.100				100									
7		-6.85 6.85		凝灰岩		白灰			全体に粗粒な凝灰岩からなり、全体に径10mm以下の軽石を混入する。コアは送水掘削にて5～30cmの棒状コアとして採取される。全般に固結度はやや低く、コアの硬さはハンマーの軽打で割れる程度である。深度6.90m付近に垂虎の薄層を挟む。深度11.00m付近および15.50m付近は軽石を多く混入し、比較的固結度の低い軽石質凝灰岩状を呈する。			6.150	9	10	11	30									
8											6.450														
9											7.150	9	14	19	42										
10											7.450														
11											8.150	28	22		50	160									
12											8.310				50										
13											9.150	38	12		50	130									
14											9.280				30										
15											10.150	32	18		50	150									
16											10.300				50										
17							11.150	3	4	5	12														
18							11.450																		
19							12.150	12	18	20	50	280													
20							12.430				50														
21							13.150	26	24		50	160													
22							13.310				50														
23							14.150	22	28		50	170													
24							14.320				70														
25							15.150	10	12	14	36														
26							15.450				300														
27							16.150	13	30	7	50	220													
28							16.370				20														
29							17.150	31	19		50	140													
30							17.290				40														

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-8			調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子稲荷前 地内				北緯	° ' "		
発注機関	仙台市愛子東土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	令和6年 3月26日～ 年 月 日				東経	° ' "	
調査業者名	株式会社 オオバ 東北支店 電話 022-217-1435			主任技師	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		現場代理人	本間 章久 地質調査技士 登録番号:		コア鑑定者	地質調査技士 登録番号:	
ボーリング責任者	佐藤 弘隆 地質調査技士 登録番号: 第20615号											
孔口標高	0.00m	角  度	方  向	地盤勾配  配	使用機種 試錐機							
総削孔長	0.00m					エンジン ヤンマーTF90型 ポンプ 東邦BG-3型						

[illegible]

	土質試験結果一覧表（基礎地盤）	
--	-----------------	--

調査件名 区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務

整理年月日

2024年 2月 19日

整理担当者

吉田 淳子

試料番号 (深 さ)		T1-1 (1.50~2.20m)				
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	1.582				
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	0.958				
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.566				
	自然含水比 w_0 %	62.2				
	間隙比 e	1.678				
	飽和度 S_r %	95.1				
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.3				
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	25.6				
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	54.6				
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	19.5				
	最大粒径 mm	4.75				
	均等係数 U_c	-				
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %	61.8				
	塑性限界 w_p %	37.4				
	塑性指数 I_p	24.4				
分類	地盤材料の 分類名	砂質シルト (高液性限界)				
	分類記号	(MHS)				
圧密	試験方法	段階載荷				
	圧縮指数 C_c	0.50				
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²	258.4	対象層の有効土被り圧 $\sigma_v' = 1.65m \times 16kN/m^3 = 26kN/m^2$ $\sigma_v' < p_c$ ∴ 過圧密			
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん断	試験条件	UU三軸				
	全応力 c kN/m ²	50.9				
	ϕ °	4.8				
	有効応力 c' kN/m ²					
	ϕ' °					

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料
に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

	土質試験結果一覧表（基礎地盤）	
--	-----------------	--

調査件名	区画整理事業の準備に係る調査測量設計業務	整理年月日	2024年 2月 19日
------	----------------------	-------	--------------

整理担当者 吉田 淳子

試料番号 (深 さ)		T2-1 (1.00~1.58m)				
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	1.711				
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.168				
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.585				
	自然含水比 w_0 %	44.4				
	間隙比 e	1.213				
	飽和度 S_r %	94.6				
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	4.8				
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	36.3				
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	27.4				
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	31.5				
	最大粒径 mm	19				
	均等係数 U_c	-				
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %	54.2				
	塑性限界 w_p %	32.8				
	塑性指数 I_p	21.4				
分類	地盤材料の分類名	砂質シルト (高液性限界)				
	分類記号	(MHS)				
圧密	試験方法	段階載荷				
	圧縮指数 C_c	0.36				
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²	238.4	対象層の有効土被り圧 $\sigma v' = 1.35m \times 17kN/m^3 = 23kN/m^2$ $\sigma v' < p_c \dots$ 過圧密			
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん断	試験条件	UU三軸				
	全応力	c kN/m ²	30.8			
		ϕ °	10.0			
	有効応力	c' kN/m ²				

特記事項	1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。
------	---------------------------------

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]